

まえがき

米国連邦政府・連邦 CIO 協議会(Federal CIO Council)は、さる 2007 年 1 月に「2007～2009 年度戦略計画」(Federal CIO Council Strategic Plan FY2007-2009)を公表した。これは米国連邦政府の電子政府政策の課題と今後の方針を CIO 協議会の立場からとりまとめたものであり、この戦略の重点とその背景を調査分析することにより、米国連邦政府の電子政府政策の現状と課題が明らかになる。

CIO 協議会として戦略を発表するのは 3 年ぶりである。2004 年 2 月に発表された戦略では (1)電子政府の拡大、(2)省庁間協働の奨励、(3)安全な IT インフラの確保、(4)IT 人事管理の改善の 4 項目が重点とされた。

それに対して、今回の戦略では、(1)T の中核を担う人材の確保、(2)データ体系の整備、(3)業務統合の推進、(4)業務連携の基盤整備の 4 つの目標をかかげている。

両者を比較すれば今回の戦略計画の特徴が浮かび上がる。その第一は、IT 人材の確保を大きく取り上げていることである。IT 人材の質的転換と高齢化による不足問題を強く訴えている。この問題は 2004 年の戦略計画では 4 番目の課題であったが、今回は第一の目標となっており、この 3 年間で大きな改善には向かわなかったことをうかがわせる。第二は、この 3 年間でさらに電子政府を支える技術的制度的基盤が着実に改善し、より踏みこんだテーマを取り上げていることである。

本レポートは、全体で 2 部構成としてある。

第 1 部 解説 では、戦略計画のもととなる背景と今回の戦略計画の 4 つの目標に沿った内容の「解説」を行っている。まず、今回の戦略計画の概要をつかむため、4 つの目標の要約を第 1 章に記した。そして、その背景について理解を深めるため、第 2 章で 1990 年代半ば以来の米国連邦政府の基本的な施策動向を整理するとともに、第 3 章で CIO 協議会自体の役割と活動について記述した。そして第 4 章から第 7 章にわたって、各目標について、基本動機と関連するプログラムを解説してある。

第 2 部 参考資料 では、4 つの目標の内容を補足する「参考資料」をまとめている。読者の必要に応じて参照されたい。

調査は、(株)フューチャーコミュニティ研究所・奥村裕一(兼東京大学大学院特任教授)らが行った。その際の東京大学大学院城山英明教授のサポートに感謝したい。なお、記述内容に誤解、不備があるとすればすべて本調査のまとめに当たった奥村の責任である。米国政府の電子政府に関する施策の一層の理解増進のため、読者諸兄のご意見、ご叱責を hirokazu.okumura@nifty.com までいただければ大変ありがたい、ここにお願いするしだいである。